

# 調査結果で見るマンション居住者の満足度

居住性調査(平成 16 年度)

**調査結果のポイント** 注:( )内は平成 12 年度調査 平成 16 年度調査

## 住宅全般及び項目別の評価

住宅全般では「たいへん満足」と「やや満足」を合わせた割合は 3.3 ポイント増加(84.4% 87.7%)。

項目別のうち「駐車可能台数」「駐輪場の広さ」「上階から伝わる音」「屋外から伝わる音」「窓ガラスの防犯性能」「窓の防犯センサー」で「多少不満」と「たいへん不満」を合わせた割合が 3 分の 1 を超える。

断熱性能の「たいへん満足」と「やや満足」を合わせた割合は 6.5 ポイント増加(84.1% 90.6%)。

バリアフリー対策の「たいへん満足」と「やや満足」を合わせた割合は共用部分で 70% を超え、専有部分で 80% を超える。

## 定期点検の実施状況に対する評価

定期点検に対して「多少不満」と「たいへん不満」を合わせた割合は 4.2 ポイント増加(23.3% 27.5%)。

「不満内容」で増加した項目は「点検のやり方」(53.5% 67.3%)「点検結果の説明」(36.0% 38.0%)「点検箇所」(11.0% 22.4%)。

## 保有している書類等

「長期修繕計画の保有率」は 10.4 ポイント増加(64.5% 74.9%)。

## 長期修繕計画に対する認知度

「あることは知っている」が 8.6 ポイント増加(68.2% 76.8%)した反面、「内容までよく知っている」は 2.2 ポイント減少(13.4% 11.2%)。

## 共用部分の維持管理に対する関心度

「たいへん関心がある」と「やや関心がある」を合わせた割合は 2.3 ポイント増加(85.2% 87.5%)。長期修繕計画の認知度が高いほど関心度は高い。

## マンションや住戸を選定した際の影響度

「多いに影響した」項目のうち「公庫融資付きで安心してローンが組める」(57.2%)「入居後に毎月負担する金額(管理費・修繕積立金等)」(53.1%)が半数を超える。